防災航空体制のあり方検討委員会の概要

目 的

平成30年8月10日に発生した群馬県防災ヘリコプター「はるな」の墜落事故を受け、防災ヘリの安全管理体制を全面的に検証すると ともに、今後の防災航空体制の再構築を図ることを目的として、検討委員会を設置する。

検討課題

【これまでの運航、安全管理体制の検証】

- 今回の墜落事故の経緯
- > 運航、安全管理体制
 - 出動、飛行可否の判断
 - 安全確保のための事項

小林啓二

加藤秀治

松永和昭

鈴木徳義

菅津雅弘

清水岳

山田勲

||【今後の安全管理体制の検討】

(例) ➤ 安全管理組織体制の確立

- > 関係規程の見直し
- > 運航可否、運航中止判断の手順の明確化
- ▶ 隊員の研修、訓練の充実
- > 安全運航の確保に係る装備品

Ⅲ【防災へリの活動再開へ 向けた課題の整理】

神谷俊一

町田浩志

小池信行

員 (計8名)

• 帝京大学理工学部航空宇宙工学科教授 平本降

宇宙航空研究開発機構主任研究開発員

• 朝日航洋株式会社安全統括部部長

・本田航空株式会社へリコプター部部長

埼玉県防災航空隊防災航空センター所長

• 岐阜県防災航空隊航空安全管理監

• 東京消防庁航空隊隊長

群馬県消防長会会長(前橋市消防局長)

オブザーバー (計6名)

総務省消防庁広域応援室長

• 陸上自衛隊第12旅団航空運用室長

群馬県警察航空隊副隊長

多野藤岡広域消防本部消防長

• 吾妻広域消防本部消防長

事務局

• 消防保安課

舘野智成 成田晃一

前橋赤十字病院高度救命センター副部長

三浦敏明